

指定共同生活援助事業所ステップ・ハウス 地域連携推進会議 議事録

- 1 開催日時 令和7年11月26日(水) 13:30~15:00
- 2 開催場所 ジャパンマック事務局
- 3 出席者 (順不同) T.Y様(板橋区S町町内会会長、板橋区S町在住)、S.Y様(保護司、板橋区O町在住)、T.H様(保護司、板橋区S町在住)、Y.S様(板橋区福祉事務所職員)、A.S氏(みのわマック、グループホーム利用者代表)
(以下敬称略) A.T(ジャパンマック副代表理事)、M.K(ステップ・ハウス/管理者)、N.Y(ステップ・ハウス/サービス管理責任者)、K.M(みのわマック生活支援員)、K.T(みのわマック生活支援員)

4 議事概要

(司会 M.K、N.Y)

(1) ジャパンマックのグループホーム地域連携推進会議の目的説明(説明者:M.K)

利用者と地域の関係づくり、地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、サービスの透明性・質の確保

(2) 出席者自己紹介

(3) ジャパンマック団体概要説明(説明者:M.K)

① 支援する障害

依存症(アルコール依存、薬物依存、ギャンブル依存など)

② 事業について

日中回復支援施設、共同生活援助、就労継続支援B型、訪問看護、カウンセリング

③ 依存症になる要因(発達障害、知的障害、機能不全家族による虐待などの多層構造)

④ 引き起こす結果(社会生活の破綻(入院、逮捕、収監)、周囲の人への影響)

(4) ステップ・ハウス(共同生活援助(グループホーム=ナイトケア))、みのわマック(日中自立訓練=デイケア)の紹介(説明者:N.Y、A.S氏)

① みのわマック(日中自立訓練)(ステップ・ハウスとかかわりの深い日中での中心活動である「ミーティング」の説明)

② 現利用者(A.S氏)による経験談(日中のミーティング参加により他の利用者の考えに対する理解度が深まったなどの効果について)

③ ミーティング以外のイベントによる交流(江の島宿泊や、OB会主催のバーベキュー大会などのイベント、スポーツ(卓球・バドミントン)、調理実習プログラムなど)

④ ステップ・ハウス(共同生活援助(グループホーム))での生活についての経験談(同施設現利用者のA.S氏。夜間の相互援助グループに行けるようになったのも、共同生活を送っているお陰であるなど。)

(5) 質疑応答

① 質問:利用期間終了後の生活は?→回答:独居が9割、家族同居は1割。相互援助グループのミーティングへの出席は続ける。

② 質問:就職のあっせんは?→回答:利用者自身がハローワークを利用して探すことを支援している。

- ③ 質問：「依存症」の定義は？→回答：診断基準に沿って医師が診断することが基本である。加えて事業所としては、依存する行為によって一般的な「社会生活」を送れない状態に本人や周囲が苦慮している状況と理解している。
- ④ 夜間等トラブル発生時の事業所としての対応は？→回答：常時、職員は緊急用携帯電話を所持して待機しており、夜間であっても職員が速やかに対応する。緊急連絡先は、グループホーム内に掲示している。

5 グループホーム視察

(1) 視察のルート： ステップ・ハウスⅠ → バーブホーム（建設中） → ステップ・ハウスⅡ

(2) 視察者の感想

- ① 想像していたよりも清潔に使っている印象
- ② 緊急連絡先や自助グループの予定・運営規程等、必要な情報が掲示されている
- ③ ユニットによって、共通スペースの大きさが違うんですね
- ④ 設備・備品などもちゃんと整っていて生活がしやすそうと感じた
- ⑤ このような住環境で同じ課題に向き合う仲間同士が共同生活を営むことは有意義と感じた

以上